

二ツ川健二技術士を偲ぶ

関根達夫

■二ツ川技術士の経歴

二ツ川さんは昨年
の11月3日に新潟市で享年64歳の若さで亡くなりました。私は、大学の同期で卒業後も札幌市で二ツ川さんと同じ建設コンサルタント業界に勤めているものです。



二ツ川さんは、北大理学部の地質学鉱物学科では湊教授のもとで支笏火砕流の卒論を行いました。

卒業後、北海道土質コンサルタント株式会社に勤務し道内の土質地盤に関する調査解析の仕事をされました。その間、札幌周辺の泥炭地盤など軟弱地盤の研究を進められ、地盤工学会などで多くの発表をされました。中でも、「札幌の2m深地質図」作成では中心的に関わっていたと伺っております。

そのような、経験、技術の蓄積を背景として昭和56年に建設部門・土質及び基礎の技術士に合格されました。平成7年2月に「札幌市の表層地盤と沖積層の構造」が土質工学会支部賞を受賞しました。

(社)日本技術士会北海道支部・技術士センターの編集委員や理事を長年にわたり務められました。

- ・日本技術士会に平成4年10月に入会
- ・平成3年度～平成16年度 (社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センターの広報委員
- ・平成9年度～平成16年度 北海道技術士センターのセンター理事
- ・平成8年10月に北海道支部設立30周年記念米国西海岸研修旅行に参加し活断層、防災行政、危機管理体制を学んだ。途中立ち寄ったドジャース球場では中学、高校と野球部だったので、非常に喜んでいたという。

センターの理事をしていた平成14年に脳腫瘍が見つかり大手術をしました。その後、何度か入院

を繰り返しましたが平成17年に治療に専念するために会社を退職しました。退職後も、読書が続けられ私の電子掲示板に「晴耕雨読」というタイトルで37回も読書感想文を寄せてくれました。

平成18年7月 奥さんの実家のある新潟に引っ越しました。

平成19年6月に、(社)日本技術士会の発展への顕著な貢献を認められ、日本技術士会会長表彰されました。

平成21年11月3日、糖尿病や脳腫瘍が悪化して64歳の若さで亡くなりました。二ツ川さんの葬儀は新潟の日本キリスト教団新津教会でご家族・近親者で執り行われました。

■二ツ川技術士を偲ぶ会

今年の1月、二ツ川さんが勤務していた会社の同僚と大学同期が世話人となり、生前交流のあった大学関係、地盤工学会、技術士会関連、会社の元同僚に呼びかけし偲ぶ会を開くことになり、平成22年3月6日にKKRホテル札幌で「二ツ川君を偲ぶ会」を開催しました。

出席された多くの方々から二ツ川さんを偲ぶ言葉をいただきました。また、新潟から二ツ川さんの奥様が来られ二ツ川さんの遺言に遺骨の一部を石狩川に流してほしいと書かれていたことを聞かされました。新潟へ転居後も仕事や研究をしていた石狩周辺のことを思っていたのでしょうか。

心から二ツ川健二さんのご冥福をお祈りいたします。

関根達夫 (せきね たつお)

技術士(応用理学部門)

北海道キング設計 株式会社